

## 次回講座のご案内

子どもゆめ基金助成活動



### ◆子どもと共に「わらわらうた」をたのしみ

「絵本」の世界へ誘う (全5回) 第2回

・講師 廣渡しずのさん

・日時 7月22日(日) 14時〜16時

・会場 熊本市国際交流会館 大広間

### ●お話を楽しむ講座 (全4回)



第2回 語りと学校でのおはなし会

・日時 9月12日(水) 10時〜12時

・会場 熊本市立図書館 集会室

・語り 「ネコの家に行った女の子」

「たこあげ大会」

・学校でのおはなし会

吉朝潤子

### ●物語を楽しむ講座 (全4回)



第2回 紳士なこぐまが常識を覆す!

・日時 9月26日(水) 10時〜12時

・会場 熊本市立図書館 集会室

・課題本 『くまのプディングトン』

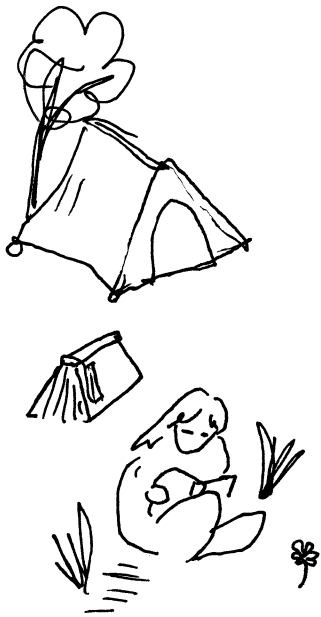
マイケル・ボンド (福音館書店)

〜皆様のご参加をお待ちしています〜

## 本はともたち!



35周年記念講演会の挨拶で、読書好きの子どもが増える環境造りをしたいと述べましたが、その気持ちを強くさせてもらったのが、新井紀子氏の『AI vs. 教科書が読めない子どもたち』です。東ロボくん(東大合格を目指すAI)開発で有名なAI専門家の新井先生は、未だAIは文章の意味を理解することはできていない(それ故東大合格は無理)と断言するとともに、教科書などに書かれている文章の意味を理解して判断する能力こそが、AI社会においても必要とされる最も重要な能力であると指摘しています。本研究会の活動により、読書を楽しみ、文章を精読する習慣を持ち、将来のAI社会の中でも活躍し得る子どもたちが増えることを期待しています。(横田真)



## 食卓の周辺



わが家の庭は、手入れがいきとどいていませんが、うっそうと樹木が茂っていますので、私の気持ちを癒してくれます。

四十年前、家を新築した時に植えたモチノキは大木になり、毎年、実をつけ、秋になると、すずめの大群が訪れ、あつという間に赤く色着いた実を食べてしまいます。今年もいっぱい実をつけてすずめの訪れが待たれます。

愛犬ローラも年老いましたが元気で、食欲もあります。研究会のスタッフのみなさんが毎日のように事務局に訪れますので有難く感謝しております。

夜は、テレビを観る日が多いのですが、テレビのなかった昔の人は、読書や縫物などの夜なべ仕事をしていたのでしょうか。毎日、東京の息子と娘が電話をくれますので、有難いことで、元気でいなくてはと思っています。(横田幸子)

■編集 堀・金子・田原 ≪イラスト≫ 安田晶子

特定非営利活動法人

熊本市子どもの本の研究会 発行

T 861・8029

熊本市東区 西原一丁目一五の二四

T/F 096・382・5090